Press Release

電通総研

2026 年 11 月 25 日

株式会社電通総研

電通総研、人事業務の抜本的な見直しを支援するコンサルティングサービス

「HUMAnalytics for Business（ヒューマナリティクス フォー ビジネス）」を提供開始

－ 3,000 社以上の人事システム導入実績を生かし、業務の再設計から実装・定着まで一貫支援 －

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研（本社：東京都港区、代表取締役社長：岩本 浩久、以下「電通総研」）は、人事部門の業務プロセスを起点に、現状把握から課題の特定、業務プロセスの再設計・標準化、実装・定着までを一貫して支援するコンサルティングサービス「HUMAnalytics for Business（ヒューマナリティクス フォー ビジネス）」の提供を 2026 年 11 月 25 日（水）より開始します。

本サービスは、電通総研が長年にわたり人事システムの導入や業務改善に携わる中で得た知見を基に、企業ごとの業務実態や課題に応じて人事業務の改革を支援するものです。複雑化する人事業務の課題を客観的に把握し、BPR※を通じて人事業務の全体最適を図ります。



「HUMAnalytics」のサービス体系イメージ

■ 背景

近年、企業の人事部門では、業務効率化や属人化の解消が求められるとともに、AI をはじめとするテクノロジーを活用した業務変革への期待も高まっています。一方で、既存の業務プロセスや独自のルールを十分に見直さないままシステム化・自動化を進めると、非効率な業務が残り、テクノロジーの効果を最大限に引き出せない場合があります。

こうした課題を解決するためには、システムや AI の導入を起点とするのではなく、業務全体を捉えてプロセスそのものを見直し、その上で最適な実行手段を組み合わせることが重要です。そこで電通総研は、3,000 社以上の導入実績を持つ統合 HCM ソリューション「POSITIVE」で培った知見を生かし、BPR による業務プロセスの再設計を軸に、人事業務の全体最適を支援する「HUMAnalytics for Business」を開発しました。

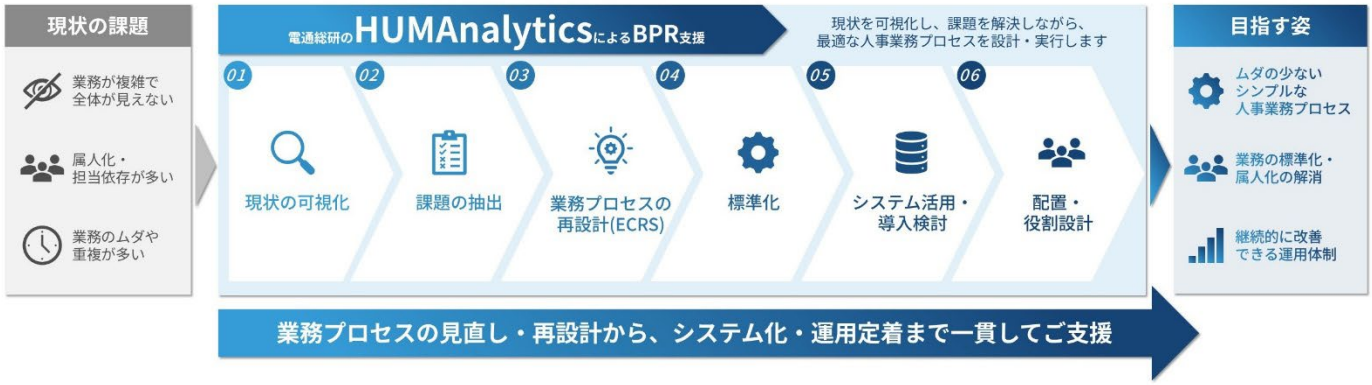
■「HUMAnalytics for Business」の主な特長

1. 人材マネジメント支援に加え、人事業務改革に特化した新サービスを追加

電通総研は、これまで「HUMAnalytics」を通じて、企業の人材マネジメントの高度化を支援してきました。

今回、人事業務の効率化・高度化を支援する「HUMAnalytics for Business」を新たに提供するとともに、従来のサービスは「HUMAnalytics for TalentManagement」として展開します。「HUMAnalytics for Business」では、複雑化した業務プロセスや属人的な運用を見直し、人事部門全体の生産性向上を図ります。

2. 現状の可視化から役割設計まで、6 つのステップで業務プロセスを再設計



「HUMAnalytics for Business」による BPR 支援の 6 ステップ

「現状の可視化」「課題の抽出」「業務プロセスの再設計」「標準化」「システム活用・導入検討」「配置・役割設計」という体系化された 6 つのステップで、人事業務を見直します。

各工程の担当者や利用するシステム、部門間の連携などを確認し、業務全体の流れを可視化します。個々の作業だけでなく、前後の工程とのつながりも捉えることで、業務の重複や手戻り、属人化などの課題を洗い出し、改善の優先順位を明確にします。

業務の目的や必要性を踏まえ、ECRS（排除・結合・交換・簡素化）の観点から不要な作業の削減や類似業務の集約、役割分担の見直しを進めるとともに、業務手順や判断基準などを整理・標準化します。これにより、既存業務を前提とした部分的な効率化にとどまらず、業務全体を見据えてプロセスを再設計します。

3. 豊富なシステム開発・導入実績を生かし、業務改革の実装・定着までを一貫して支援

電通総研は、長年にわたり企業の人事システムの開発・導入に携わり、業務とシステムの両面から人事課題の解決を支援してきました。この実績を生かし、BPR による業務プロセスの再設計にとどまらず、システム開発や AI 導入、人事業務の BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）などを組み合わせ、改革の実装まで一貫して支援します。

企業ごとの業務実態や課題に応じて、人・システム・AI の役割分担を最適化し、新たな業務プロセスが現場に定着するまで伴走します。

■ 今後の展開

電通総研は今後もAIをはじめとするテクノロジーの進化も取り入れながら、業務改革の実装・運用を支えるサービスを拡充していきます。これにより、人事部門が生み出す価値の最大化と、企業・組織・個人の持続的な成長に貢献します。

※ Business Process Re-engineering：業務プロセスの抜本的な再設計。

＜ご参考資料＞

・「HUMAnalytics」について

2026年9月30日
電通総研、統合HCMソリューションの最新版「POSITIVE（ポジティブ） Ver.7.2」を提供開始
2026年8月26日
電通総研、統合HCMソリューション「POSITIVE（ポジティブ）」を野村不動産グループ3社へ人事基幹システムとして導入
2026年4月14日
電通総研、Microsoft 365 の業務行動データを起点とした「HR×AIの組織変革プログラム」を提供開始

■ 電通総研について https://www.dentsusoken.com

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation（クロスイノベーション）」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

＊ 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】
株式会社電通総研 HCM本部 HCM戦略コンサルティング部 二ノ宮、宮田
E-Mail：g-hcm-info@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】
株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 塩谷
TEL：03-6713-6100 E-Mail：g-pr@group.dentsusoken.com